

サプリメントの賢い使用法

難病に対するピクノジェノール®の適応
～臨床の現場から～

横浜市青葉区 美しが丘動物病院
院長 柏木 龍



サプリメントとは・・・

FDA : アメリカ食品医薬品局 による区分のひとつ、dietary supplementの訳語である。

古典的には不足栄養素の補充のための食品と考えられ、DSHEA : Dietary Supplement Health and Education Act 栄養補助食品健康教育法によって、ビタミン、ミネラル、ハーブ、アミノ酸のいずれかを含み、通常の食事を補うことを目的とするあらゆる製品と定義されている。

→ 日本ではサプリメントの法律上の定義はなく、健康食品と言う名称を用い、「食品に分類されつつ、特に健康の保持増進に役立つもの」という位置づけ。



サプリメントによる病気への介入

近年はサプリメントの成分に医薬品成分の混入が認可される傾向が強い。

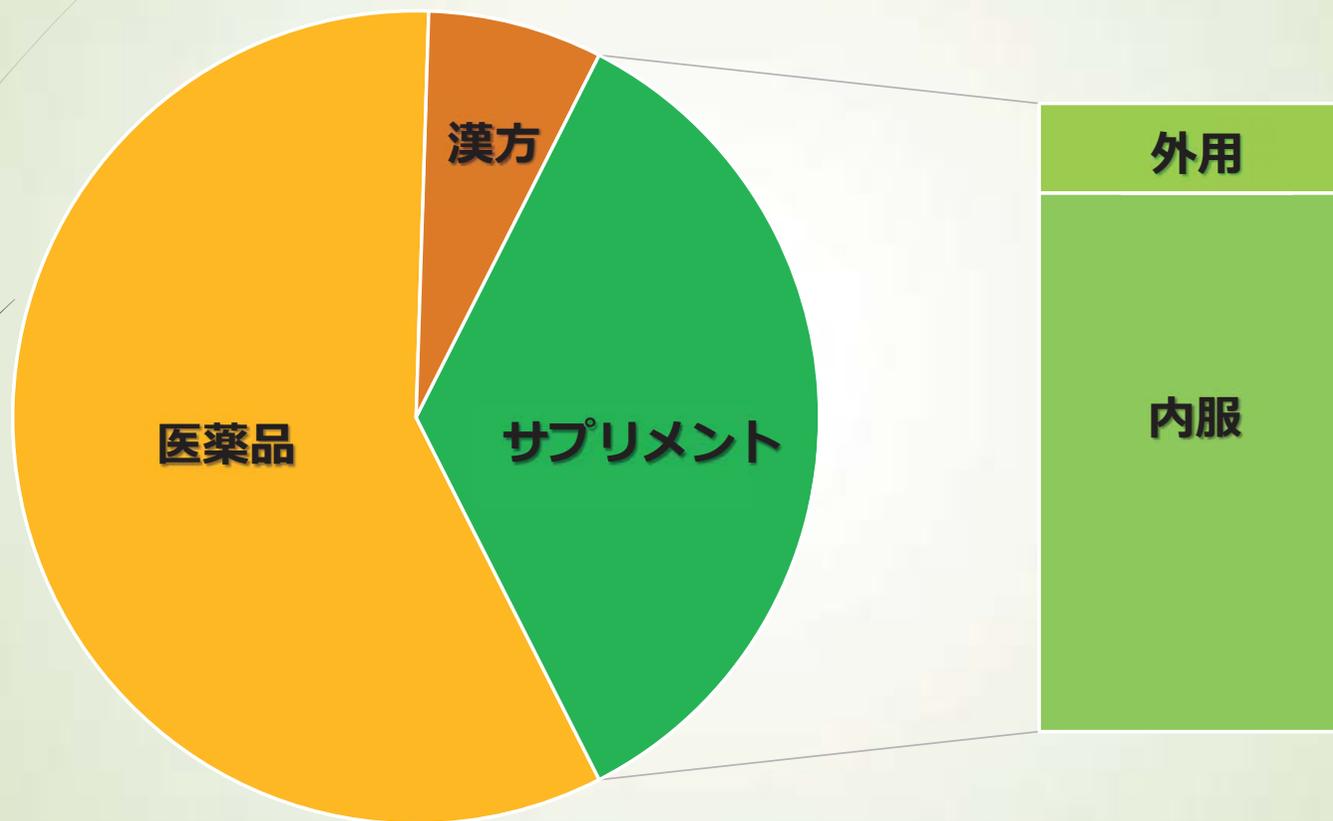
日本では約1000種の**医薬成分**に関しては、効能効果を表示すれば医薬品、
表示しない場合は食品として販売することが可能。



つまり、現制度下ではサプリメントは食品でありながら医薬品以上の効果を発揮しうる製品であり、適切な製品を選択すれば疾患の治療効果を期待することができる。



当院におけるサプリメントの利用



※処方割合を示す。また、フィラリアなどの予防薬は除く。



ピクノジェノール[®]について

原料は過酷な気候下に育ったフランス海岸松の樹皮
その抗酸化力は**ビタミンCの340倍、ビタミンEの170倍。**
体内の抗酸化ネットワーク機能を高めます



ピクノジェノール[®]の成分と特性について

ピクノジェノールに含まれる成分の60%以上は
プロシアニジンと呼ばれるフラボノイドで、
その他40種類以上の有機酸も含まれています。

天然抽出物

フラボノイド類(プロシアニジン)

有機酸

カテキン、エピカテキン

タクシフォリン

Pycnogenol[®]

特許取得済み抽出方法



パンフェノンの5大作用について

フランス海岸松樹皮抽出物

ピクノジェノール®含有 動物用サプリメント

パンフェノン

優れた抗酸化力

血流改善機能

コラーゲン・
エラスチン結合機能

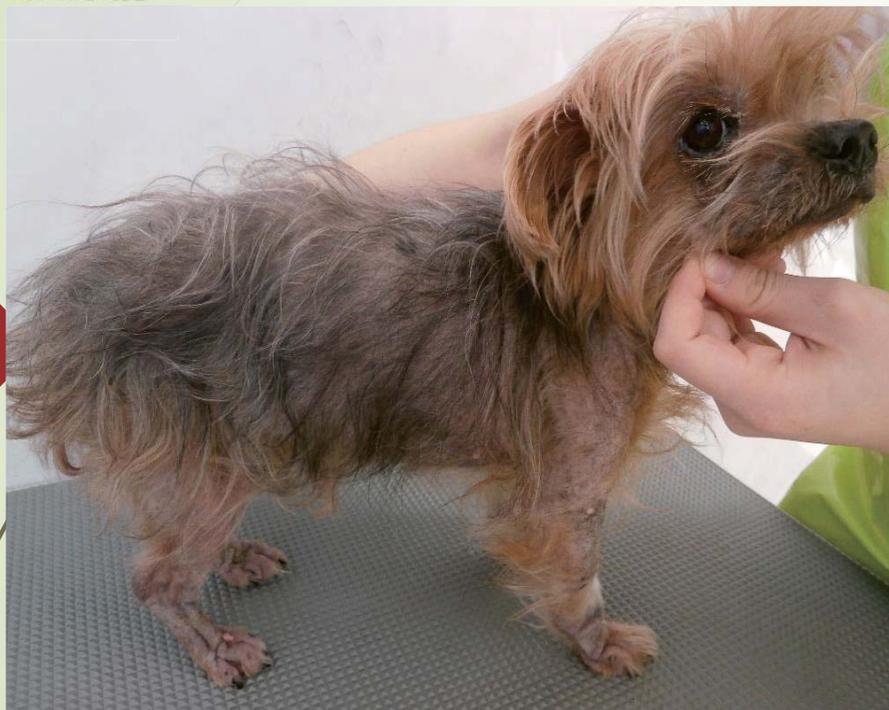
有力な抗炎症作用

血糖値の安定



症例紹介 1 脂漏症 ヨークシャー・テリア

治療前



治療後3ヶ月



皮膚科専門病院を紹介受診するも改善せず、
当院にてシャンプー療法と併用して**ピクノジェノール**製剤の投与を行った。



症例紹介 1 脂漏症

治療前



治療後3ヶ月

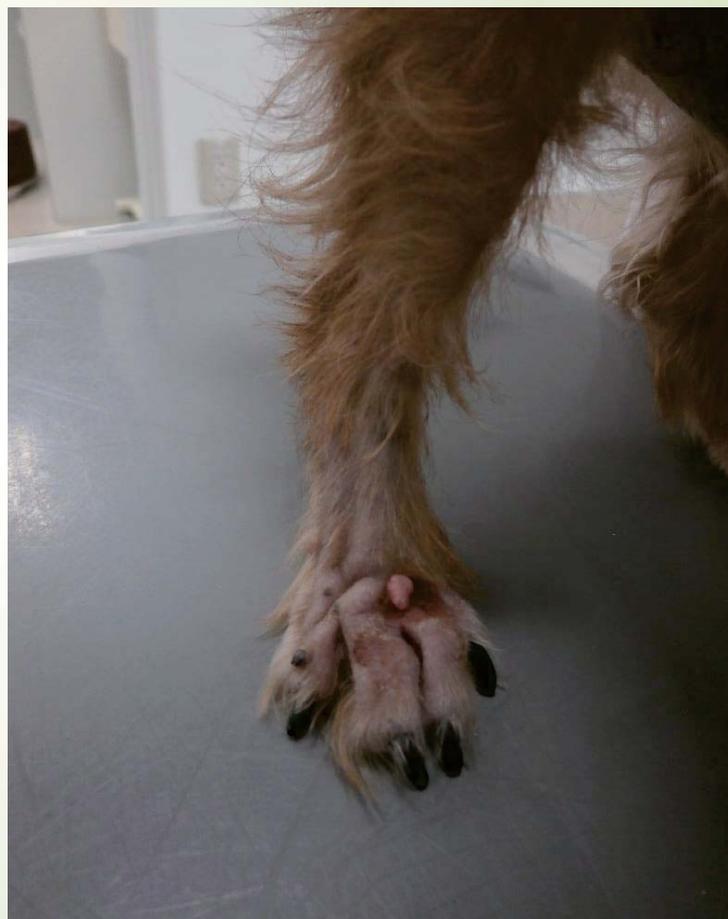


症例紹介 1 脂漏症

治療前



治療後 3 ヶ月



症例紹介 2 アトピー性皮膚炎 M.ダックスフンド

治療前



治療後3ヶ月



数年間悩まされた皮膚症状に対して、当院にて抗生剤・シャンプー療法と併用して**ピクノジェノール**製剤の投与を行った。



症例紹介 2 アトピー性皮膚炎

治療前

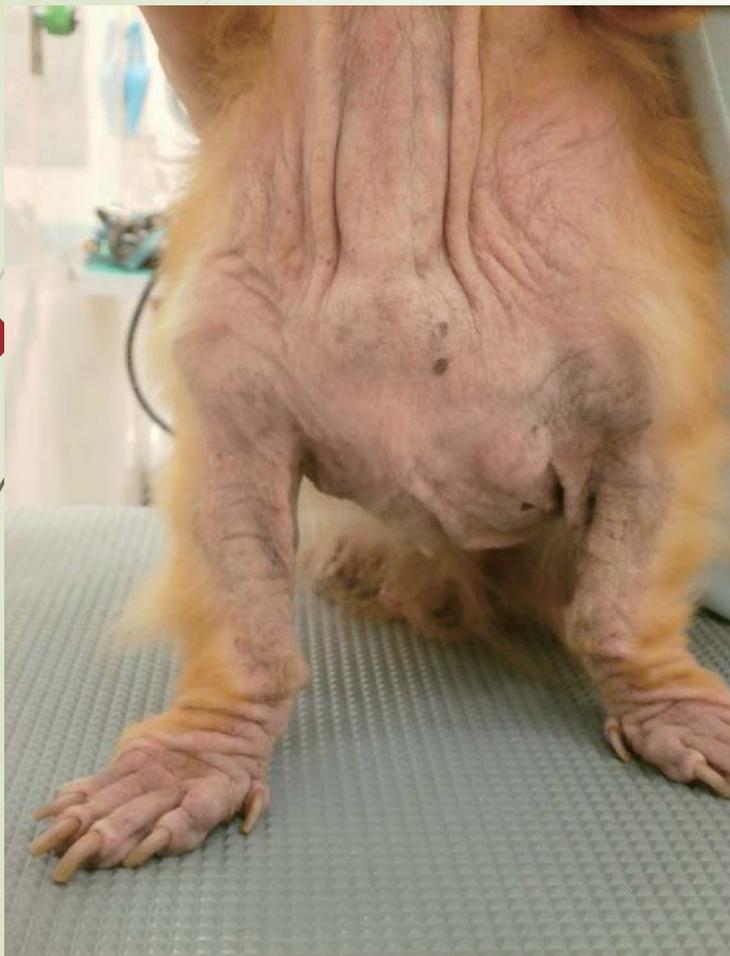


治療後3ヶ月



症例紹介 2 アトピー性皮膚炎

治療前

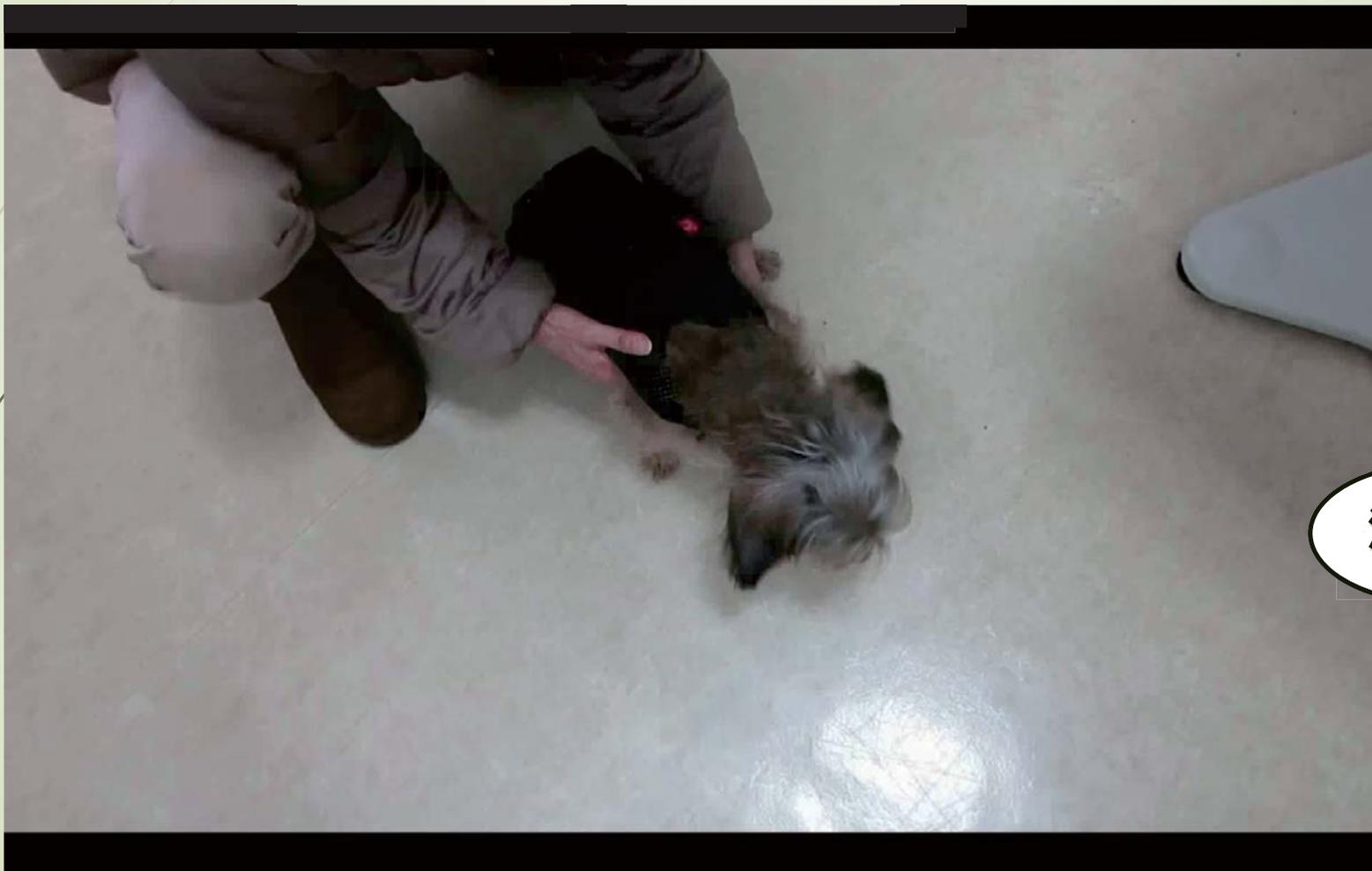


治療後3ヶ月



症例紹介 3 椎間板ヘルニア M.ダックスフンド

椎間板ヘルニアで後躯麻痺となり、外科手術を希望されなかったため、血流改善薬とピクノジェノール製剤を投与した。



治療前



症例紹介 3 椎間板ヘルニア



治療
2ヶ月後



症例紹介 4 難治性てんかん発作

柴犬 8歳

生後1年頃より、てんかん発作を発症。
フェノバルビタールによる治療をおこなっていたが、
毎週のように発作をおこしていたため、当院にて他の薬剤にて治療開始。

→ 臭化カリウム、ゾニサミド、ガバペンチンなどを用いた
多剤併用療法でも十分なコントロールが難しかった。



症例紹介 4 難治性てんかん発作

柴犬 8 歳

生後 1 年頃より、てんかん発作を発症

	フェノバル	フェノバル	フェノバル	ゾニサミド	ゾニサミド	ゾニサミド
使用した薬剤		ゾニサミド	ゾニサミド	臭化カリウム	ガバペンチン	ガバペンチン
			臭化カリウム	ガバペンチン		ピクノジェノール
3ヶ月あたりの発作の平均回数	13回	12回	10回	10回	8回	6回
1回あたりの発作継続時間	5～10分	3～5分	3～5分	3～5分	2～3分	1～3分
発作後、通常の生活に戻るまでの時間	長いと半日	長いと半日	3時間以内	2時間以内	1時間以内	30分以内



症例紹介 4 難治性てんかん発作

柴犬 8歳

生後1年頃より、てんかん発作を発症。
フェノバルビタールによる治療をおこなっていたが、
毎週のように発作をおこしていたため、当院にて他の薬剤にて治療開始。

→ あくまで飼い主様ご家族の報告によるものであり、
主観的な感想も混じってはいるが、
従来の治療に**ピクノジェノール**製剤を併用することにより…

- ・発作頻度の減少
- ・発作時間の短縮
- ・通常生活に戻るまでの時間の短縮

が有意に認められた。



症例紹介 5 僧房弁閉鎖不全症（心雑音）

チワワ 10歳

8歳で僧房弁閉鎖不全症による心雑音を認めた。

初診時 Levine III/VI の心雑音

レントゲン・超音波検査において軽度の心拡大あり

1年間ACEI（血圧降下薬）を使用して治療し、雑音の大きさや心臓のサイズに大きな変化は無く、順調に管理できていた。

初発白内障、変形性関節症の症状も認められたため、抗酸化作用、抗炎症作用に期待してピクノジェノール製剤を併用。



症例紹介 5 僧房弁閉鎖不全症（心雑音）

チワワ 10歳

8歳で僧房弁閉鎖不全症による心雑音を認めた。

初診時 Levine III/VI の心雑音

レントゲン・超音波検査において軽度の心拡大あり

ピクノジェノール製剤を併用してから3ヶ月後頃より、
心雑音 Levine II/VI と軽減した。

ただし、レントゲン検査や超音波検査における各種計測値
（FS値や右心房のサイズなど）には有意な差は認められなかった。



まとめ・考察

- 症例 1 脂漏症
- 症例 2 アトピー性皮膚炎
- 症例 3 椎間板ヘルニア
- 症例 4 難治性てんかん発作
- 症例 5 僧房弁閉鎖不全症



上記症例において、様々な治療（西洋医学的）と組み合わせた結果ではあるが、ピクノジェノール製剤の併用により治療効果が高まることが示唆された。今後、病気（あるいはその一歩手前の状態）に対して、薬効成分を含んだサプリメントによる Hybrid Supplement Therapy は、より重要性を増すと思われる。

獣医師・飼い主の双方がサプリメントに対する理解を深めることにより、より効果的な治療の選択肢が増え結果的に動物の健康管理の向上に役立つであろう。



ありがとうございました

